

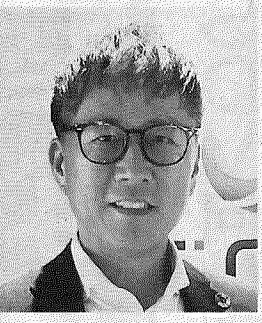
# スタートアップ NEXT

## グローバルモビリティサービス

やアルコール検知器の事業拡大に力を入れている。用品小売りのオートバックスセブンと連携し、スマートフォンを使った盗難防止装置の新製品を開発した。今後、一般客に加え、リース会社なども主なターゲットに据え、普及に取り組み方針。金融分野では中古車オークション(AA)のユー・エス・エス(USS)と提携した事業も展開してお

# オートバックスと盗難防止装置

り、今後もさまざまなパートナーと組み成長につなげる考えた。



中島徳至社長



スマートプロッカー2の画面イメージ

にエンジンが始動しないように操作することが可能だ。万が一に盗難された場合には、車両側の機器本体に搭載しているGPS(全地球測位システム)機能で、車両の現在の追跡を可能としている。

自動車メーカーやティア一の関心もグローバルモビリティサー

同社は、金融とITを組み合わせた「フィンテック」を軸に事業を拡大してきた。蓄積してきたデジタル技術を生かして、オートバックスのグループが販売を開始した通信型の盗難防止装置「スマートプロッカー2」を開発した。「ゲートキー」と呼ばれる最新の車両盗難手法にも対応しているのが特徴となっている。

この製品はセキュリティ部品を車両に取り付け、ウェーブサイトに登録すれば、スマートフォンに記録の可否をホでエンジンの始動の可否を制御できる。ドアの開閉や車両への衝撃、バッテリーの電圧低下などを検知し、ユーザーに知らせる。例えば、「警戒」中にドアが解錠された場合には、利用者のスマートフォンへ異常感知を通知。それを基に、提携を2022年に発表する

## アジアの新興国でも事業拡大へ

など、関係を深めている。同社とは車載用の独自のIoT(モノのインターネット)のデバイスを搭載する、新たなオートローンの提供を始めている。現在、十分な支払い能力があっても、過去に滞納の履歴があるなどして一般的な与信審査に通らないユーザーが一定数いる。こうした人でも車を購入することを後押しするのが狙い。仮に延滞が発生すれば、車載機器でエンジンを始動できなくする。7月末までの実績で、加盟店数はおよそ750社、ローンの実行が約5100件(約70億円)に上っている。

同社では国内だけではなく、アジアの新興国でも事業拡大に取り組んでいる。これらの国でも、盗難防止装置やアルコールチェッカーのニーズが高いとみており、引き続きパートナーと協力しながら需要を開拓していく考えだ。